

交付運用報告書 2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）

**i シェアーズ 米国国債 7-10年 ETF**  
**iShares 7-10 Year Treasury Bond ETF**

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託  
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、i シェアーズ 米国国債 7-10年 ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2021年2月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、7年以上10年未満の残存期間を有する米国国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年2月末日	
1口当たり純資産価格（基準価格）	115.71 米ドル
純資産総額	14,209,563,025 米ドル
2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）	
トータルリターン	-0.37 %
1口当たり分配金額	1.217481 米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

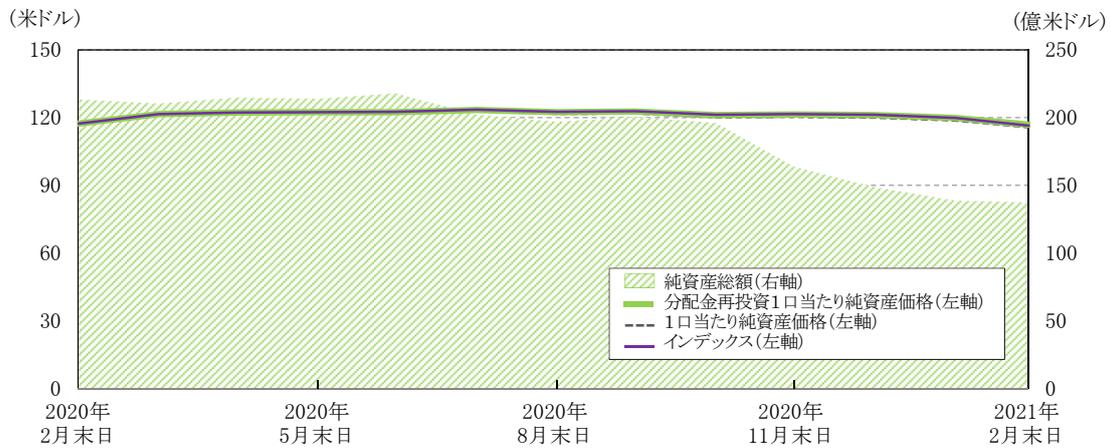
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

## 《運用経過》

### 当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2020年2月末日現在の1口当たり純資産価格：117.31 米ドル

2021年2月末日現在の1口当たり純資産価格：115.71 米ドル

(1口当たり分配金額：1.217481 米ドル)

トータルリターン：-0.37 %

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、ICE米国国債7-10年指数 (ICE U.S. Treasury 7-10 Year Bond Index) (以下「インデックス」といいます。)です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2020年2月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

## 1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

### 米国国債市場概観

2021年2月28日に終了した12ヵ月間（以下「当年度」）におけるICEコア米国国債指数のリターンはマイナス0.57%であり、米国課税債パフォーマンスの広範な指標であるブルームバーグ・バークレイズ米国総合債券指数のリターン1.38%を下回りました。

当年度における米国の経済成長は、コロナウイルスの感染拡大による急激な経済的影響とその後の回復を反映して、非常に不安定なものでした。米国では2008年の金融危機以来初めて公式に景気後退に入ったことから、2020年第1四半期（年率換算でマイナス5.0%）および第2四半期（年率換算でマイナス31.4%）においてマイナスの成長率となりました。

米国ではコロナウイルスの感染が継続しているにもかかわらず、企業や消費者は新しい状況に適応し、多くの州では2020年5月から活動の制限が緩和され始めました。一連の巨額の景気刺激策と並行して、制限の緩和により、多くの商業活動が再開され、個人への政府の支出が世帯所得を押し上げたことから、個人消費は大幅に増加しました。その結果、経済は回復の兆しを見せ始め、2020年第3四半期および第4四半期にはそれぞれ年率33.4%および4.1%の成長となりました。

感染拡大とそれに続く景気後退に関して、米国連邦準備制度理事会（以下「Fed」）は、2020年3月に短期金利を2回にわたり引き下げる緊急措置を講じ、この短期金利を、過去2度目となるゼロ近辺に設定しました。さらに、Fedは米国債およびモーゲージ担保証券の無制限のオープンエンド型債券購入プログラムを実施することによって、債券市場の安定化を図りました。Fedはその後、ハイイールド債を含む社債を初めて直接購入することによってこのプログラムを拡充しました。2020年8月、Fedは、長期的にインフレ政策を修正し、経済を刺激するために2%の目標を上回ることを容認しました。

2021年2月に議会は経済成長と雇用を加速するための追加の大規模な刺激策に係る交渉を開始しました。この予想される刺激策は、景気回復基調とFedの新しいインフレ政策とともに、投資家のインフレ期待を高めることにつながりました。

米国国債利回り（これは価格と反比例の関係にある）は、当年度において大幅に変動し、感染拡大をめぐる不透明感の中で急激に低下しました。短期利回りは低水準で推移しましたが、中長期利回りは当年度後半に大幅に上昇しました。Fedの金利引き下げを反映し、3ヵ月物米国国債利回りは1.27%から0.04%に低下し、2年物米国国債利回りは0.86%から0.14%に低下しました。しかし、10年物および30年物米国国債利回りがそれぞれ1.13%から1.44%および1.65%から2.17%に上昇したため、中長期米国国債利回りは全体的に上昇しました。

短期金利の低下と中長期金利の上昇は、イールドカーブ（満期が異なる米国国債の金利をグラフ化したもの）が非常に急勾配になったことを意味します。これは、記録的な政府による刺激策とワクチン・プログラムの中で、成長の大幅な改善に対する投資家の期待を反映しています。しかし、長期米国国債は金利変動への感応度がより高いため、長期米国国債のリターンは低くなりました。

連邦政府が財政刺激策に伴う資金調達のために多額の債券を発行したことにより、当年度の米国国債の発行は史上最高となりました。供給の増加にもかかわらず、米国国債の需要のペースは維持されました。当年度の初めに、経済の不透明感により、多くの投資家は高格付けの債券にシフトしました。その後、当年度の後半にインフレ期待が高まるにつれ、超低金利に慣れた投資家が長期米国国債の利回りの上昇を歓迎したことから、利回りの上昇が需要を支えることとなりました。

## 1. 運用の経過

### *i* シェアーズ 米国国債 7-10年 ETF

2021年2月28日現在のファンド概要

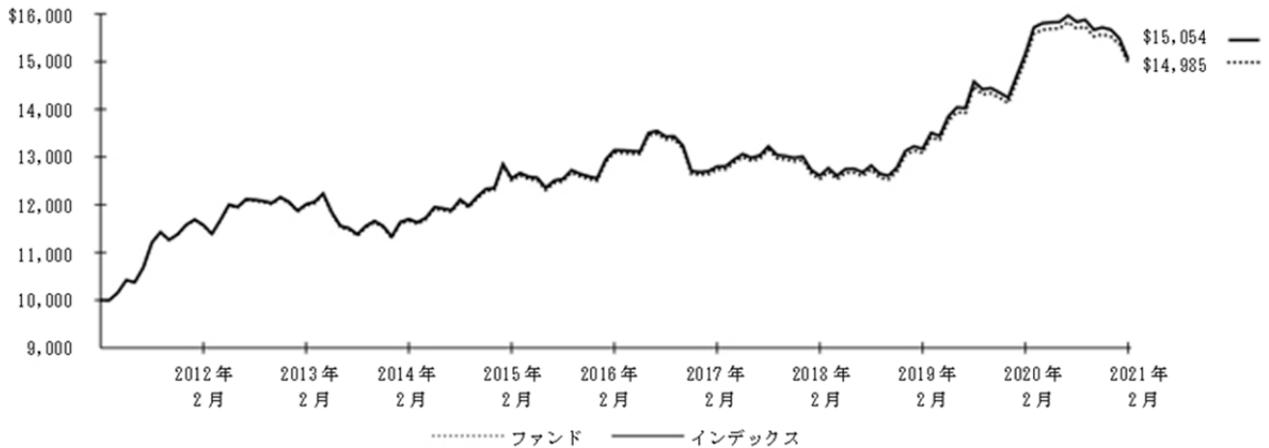
#### 投資目的

**i**シェアーズ 米国国債 7-10年 ETF（以下「ファンド」）は、ICE米国国債7-10年指数（以下「インデックス」）に代表される、残存期間が7年から10年の米国国債で構成されるインデックスの運用成果の達成を目指します。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、保有しない場合もあります。

#### パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	(0.37) %	2.74%	4.13%	(0.37) %	14.49%	49.85%
ファンドの市場	(0.29) %	2.74%	4.14%	(0.29) %	14.49%	49.96%
インデックス	(0.71) %	2.75%	4.18%	(0.71) %	14.53%	50.54%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



2016年3月31日までのインデックス・パフォーマンスは、ブルームバーグ・バークレイズ米国国債（7－10年）指数のパフォーマンスを反映しています。2016年4月1日より、ICE 米国国債7－10年指数のパフォーマンスを反映していません。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンド受益証券の分配時あるいは償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

## 費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用	費用比率 (年率)
2020年9月1日	2021年2月28日	支払額 <sup>(a)</sup>	2020年9月1日	2021年2月28日	支払額 <sup>(a)</sup>	
1,000.00 米ドル	954.80 米ドル	0.73 米ドル	1,000.00 米ドル	1,024.10 米ドル	0.75 米ドル	0.15%

<sup>(a)</sup> 費用は、当期間中の口座の平均価額に、ファンドの年率換算された費用比率（上記の表に開示される通り）および当期間中の日数（181日）を乗じ、当年度の日数（365日）で除すことによって算出されています。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

## ポートフォリオ情報

### 満期別内訳

満期	総投資比率 <sup>(a)</sup>
6年から7年	0.4%
7年から8年	47.2
8年から9年	19.0
9年から10年	33.4

### ファンドの組入上位5銘柄

証券	総投資比率 <sup>(a)</sup>
米国中長期国債, 0.63%, 08/15/30	19.0%
米国中長期国債, 3.13%, 11/15/28	15.2
米国中長期国債, 0.88%, 11/15/30	13.8
米国中長期国債, 2.63%, 02/15/29	11.3
米国中長期国債, 2.88%, 08/15/28	11.1

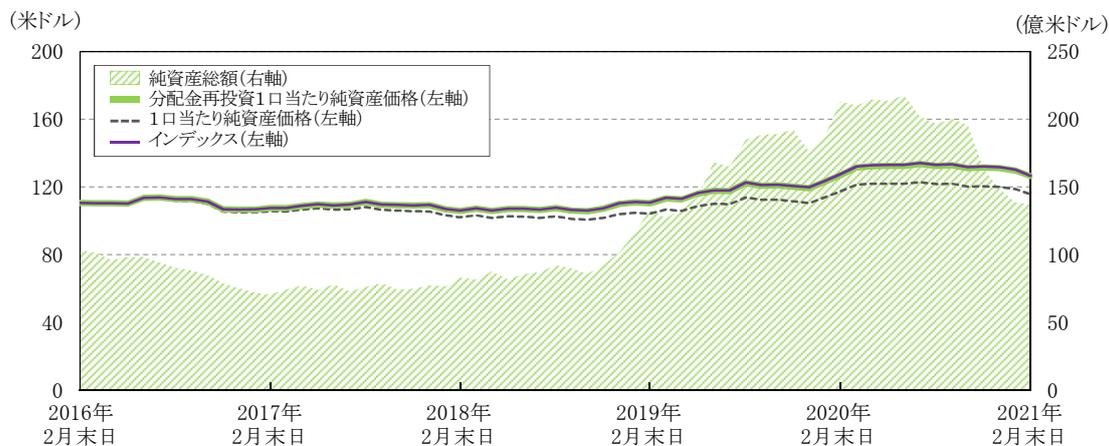
(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

## 費用の明細

項目	項目の概要	
投資顧問報酬	平均日次純資産総額の年率0.15%	ファンドの投資顧問サービスの対価
その他の費用	純資産総額の0.00%	該当事項はありません。

(注) 平均日次純資産総額とは、ファンドの属する一定のファンドグループの純資産総額の日々平均残高の合計額を指し、投資顧問会社は上記の料率に従って計算される投資顧問報酬の合計額のうち、ファンドに係る割当額を受領します。

## 最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



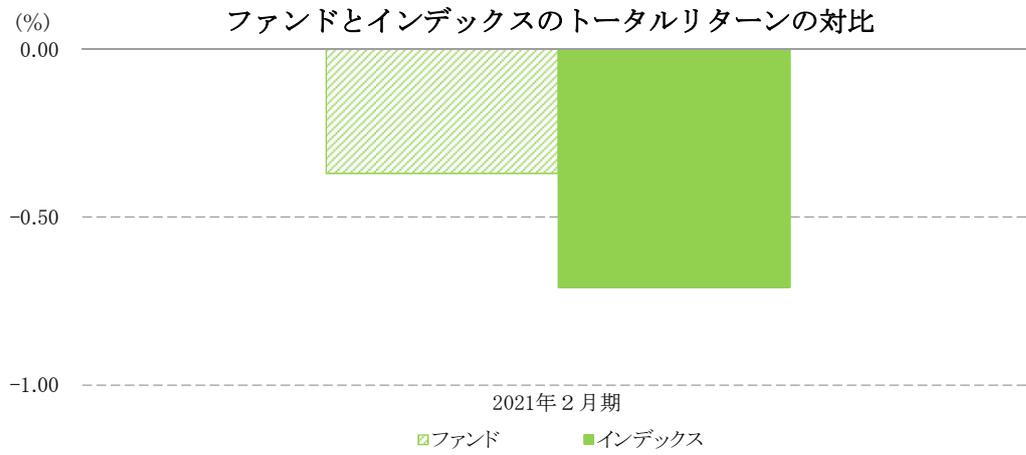
	2016年 2月末日	2017年 2月末日	2018年 2月末日	2019年 2月末日	2020年 2月末日	2021年 2月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	110.51	105.68	102.13	104.16	117.31	115.71
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	1.898620	1.929187	2.388482	2.225692	1.217481
ファンドのトータル リターン (%)	—	-2.68	-1.59	4.40	14.94	-0.37
インデックスのトータル リターン (%)	—	-2.61	-1.49	4.47	15.09	-0.71
純資産総額 (百万米ドル)	10,388	7,081	8,364	13,218	21,480	14,210

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2016年2月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) 上記のグラフのインデックスは、2016年3月31日までは、ブルームバーグ・バークレイズ米国国債（7-10年）指数のパフォーマンスを反映しており、2016年4月1日以降は、ICE米国国債7-10年指数のパフォーマンスを反映しています。

## ベンチマークとの差異について



## 分配金について

当期（2020年3月1日～2021年2月28日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。  
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2020年3月2日	117.58	0.140289 (0.12%)	3.96
2020年4月1日	121.76	0.144016 (0.12%)	4.32
2020年5月1日	121.57	0.127983 (0.11%)	-0.05
2020年6月1日	121.72	0.122219 (0.10%)	0.27
2020年7月1日	121.51	0.110052 (0.09%)	-0.10
2020年8月3日	122.53	0.099876 (0.08%)	1.12
2020年9月1日	121.79	0.088008 (0.07%)	-0.65
2020年10月1日	121.77	0.079256 (0.07%)	0.06
2020年11月2日	120.24	0.075943 (0.06%)	-1.46
2020年12月1日	119.55	0.079751 (0.07%)	-0.61
2020年12月17日	119.73	0.072535 (0.06%)	0.26
2021年2月1日	118.68	0.077553 (0.07%)	-0.97

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率 (%) =  $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 =  $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2020年3月2日の直前の分配落日（2020年2月3日）における1口当たり純資産価格は、113.76米ドルでした。

## 《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

## 《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、7年以上10年未満の残存期間を有する米国国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは通常、その資産の90パーセント以上をインデックスの債券、および95パーセント以上を米国国債に投資します。
運用方法	ファンドは、7年以上10年未満の残存期間を有する米国財務省の公債での実績を測定するインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体として該当する指数の代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの株式に投資すること）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに有価証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および連邦または地方政府もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。</li> <li>2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ、時機を失した証券の処分を要する買戻請求に対応するために、臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。</li> <li>3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法（改正済）で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。</li> <li>4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法（改正済）で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。</li> <li>5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限はファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。</li> <li>6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法（改正済）における引受人とみなされる場合を除きます。</li> </ol>
分配方針	純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、特定のファンドに対してより頻繁に分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要であるとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。

## 《ファンドデータ》

### 組入資産の内容（2021年2月期末現在）

#### 組入上位資産

（注）組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

#### 組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

（注1）ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。

（注2）ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

## 純資産等

2021年2月期末	
1口当たり純資産価格	115.71 米ドル
純資産総額	14,210 百万米ドル
発行済口数	122,800,000 口

2021年2月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
126,000,000	186,300,000	122,800,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。